

患者向け説明書:RS ウイルス(RSV)ワクチン この説明書は、RS ウイルスワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

RS ウイルス感染症とは

- **原因:**RS ウイルスによる呼吸器感染症。
- **感染経路:**飛沫感染や接触感染。乳幼児ではほぼ全員が2歳までに一度は感染します。
- **症状:**咳、鼻水、発熱。乳幼児や高齢者では重症化し、細気管支炎や肺炎を起こすことがあります。
- **重症化リスク:**高齢者、心疾患・肺疾患・糖尿病などの基礎疾患を持つ方、免疫力が低下している方は特に注意が必要です。

ワクチンの種類

- **アレックスビー®(Arexvy):**グラクソ・スミスクライン製。不活化ワクチン。60歳以上の方、または18歳以上で基礎疾患を持つ方が対象。
- **アブリスボ®(Abrysvo):**ファイザー製。不活化ワクチン。60歳以上の成人、さらに妊婦への接種により新生児のRSV感染を予防する目的でも使用されます。

接種スケジュール

- **成人:**通常1回接種。必要に応じて医師が追加接種を判断します。
- **妊婦:**妊娠24～36週に1回接種することで、生まれた赤ちゃんのRSV感染予防効果が期待されます。
- **効果:**アレックスビーは1回の接種で効果が2～3年持続します。アブリスボは1回接種で妊婦から赤ちゃんへ抗体が移行し、生後6ヶ月頃までの乳児の重症化を防ぎます。

副反応について

- **よくある副反応:**注射部位の痛み、腫れ、赤み。
- **全身反応:**発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛。
- **まれな副反応:**強いアレルギー反応(アナフィラキシー)。

接種が推奨される方

- 60歳以上の方。
- 18歳以上で慢性心疾患・肺疾患・糖尿病などの基礎疾患を持つ方。
- 妊娠中の女性(医師の判断に基づく)。
- 医療従事者や介護施設入居者など、感染リスクが高い環境にいる方。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 過去にワクチンで強い副反応があった場合は必ず医師に伝えてください。
- 妊娠中・授乳中の方は必ず医師に相談してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の腫れや痛みは数日で改善することが多いです。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

★ まとめ

RS ウイルスは乳幼児や高齢者にとって重症化のリスクが高い感染症です。ワクチン接種により発症や重症化を予防でき、特に高齢者や基礎疾患を持つ方、妊婦に推奨されています。この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。